



いばらき さとやま生活

自然が
いっぱい!!

いばらき さとやま生活

県北地域の豊かな自然を生かし、自然体験・農林漁業体験などを通して、人々の出会いや交流の場を提供する「いばらき さとやま生活」をレポートしました。

いばらき さとやま生活

検索



女性特派員：石森松枝



小林さんに作業の説明を受ける子どもたち

「いばらきさとやま生活」って何？
～県北地域の活性化のために～

四季折々の豊かな自然環境を生かし、交流・定住・二地域居住を通じて、過疎化の進む県北地域を活性化しようというのが「いばらきさとやま生活」の取り組みです。

県と財団法人グリーンふるさと振興機構が中心となり、平成十八年度にスタートした「いばらきさとやま生活」では、主に首都圏へのPRを行うとともに、お試し田舎暮らし体験事業や田舎暮らし相談窓口の設置など、県北地域での田舎暮らしを満喫できるように、支援を行っています。

また、新しい取り組みとして、県北地域の自然や文化、農林業などの体験を通して、都市と地域の人々と

の交流促進を進める「いばらきさとやま楽校（がっこう）」や小学生が県北地域の農家などに宿泊し、地域の人々と交流する「子ども農山漁村交流プロジェクト」、空き家となった古民家を活用し、県内産の農産物を利用したメニューを提供する「地産地消レストラン」など、幅広い世代を対象とした、さまざまな体験・交流の場を提供しています。

「いばらきさとやま生活」が、県北地域などにおける交流・二地域居住や移住を促進し、茨城県の『ブランド』となるよう、サポート体制を受け入れ体制の充実を図っています。詳しくは「いばらきさとやま生活」のホームページまたは次ページの問い合わせ先にご照会をお願いします。

子どもたちのさとやま生活体験
～子ども農山漁村交流プロジェクト～

県と財団法人グリーンふるさと振興機構では、県北地域の活性化を図るため、小学生の子どもたちの長期宿泊体験活動の受け入れ体制の整備支援をしています。

常陸太田市の里美地区にある「里美山村交流会」に参加する五十戸の農家では、小学生の受け入れ活動を通して、地域の活性化や地域住民同士の触れ合いを図っています。

昨年度から始まった受け入れ活動には、これまで県内各地の小学校約

技能五輪・アビリンピック

いばらき大会2009

—いばらきで 未来へ贈る 夢の技—

技能五輪:平成21年10月23日(金)~26日(月)

アビリンピック:平成21年10月30日(金)~11月1日(日)

技能五輪「家具」職種

この職種では、木製家具を製作し、その精巧さと効率性を競います。競技は12時間で、その間に「木材の加工」から「仕上がり調整」までの一連の工程を完了させなければなりません。



草苧木工株式会社の内田亮さんは、大会に向けて日々地道な練習を重ねています。完成した時の達成感が家具づくりの大きな魅力と語る内田さん。「大会では、図面から完成作品をいかにイメージできるかがポイント。練習の成果を出せるよう、精一杯頑張ります」と意気込みを語ってくれました。彼の仕事ぶりから、私たちが使っている家具に、職人の熱い思いが込められている事を実感しました。

(杉田 訓子)



技能五輪・アビリンピックいばらき大会2009
推進協議会事務局
☎029(301)3660 ㊟3669
http://www.pref.ibaraki.jp/ginougorin-abilympic/

二百五十人の児童が参加しました。今回取材したのは、城里町の坏、岩船、北方小学校の三校合同で行われた「農家民泊」です。参加した合計四十五人の子どもたちは、三、四人の小グループになり、十二戸の受け入れ農家に宿泊し、農作業などの手伝いをします。

観光リング園を運営しながら、交流会の会長を務める、小林信房さんの家に宿泊することになった子どもたちは、リング園の摘果作業を手伝うことになりました。子どもたちは、大きくなり始めたリング園の実をさがみ



自ら「いばらき さとやま生活」を実践する北山さん

で摘み取りながら、「このリングは まだ食べられないの」といった質問を投げかけ、汗まみれになって一生懸命手伝いをしていました。北山弘良さんの家に宿泊する子どもたちは、平飼いのニワトリの生みたての卵を鳥小屋の中で採り、「生みたての卵は温かいんだね」と驚きながら、普段ではしないさまざまな体験をすることができたようです。「子ども農山漁村交流プロジェクト」では、二泊三日の日程で、他にもハイキング、カヌー体験、海でのシラス漁などを行うプログラムで、東北地域の豊かな自然を満喫できるような内容になっています。参加した子どもたちが、茨城の自然を愛し、そこに住む人たちとの交流の大切さを理解し、県内外の多くの子どもたちがこのような経験の場を得られることを期待します。

みんなで“いばらき さとやま生活”を満喫しよう!!

いばらき さとやま生活倶楽部 会員募集!



【いばらきさとやま生活倶楽部】とは?

「いばらきさとやま生活倶楽部」は、いばらきさとやま生活を体験したい、もっと知りたい、東北地域が大好きという方々のための会費無料のファンクラブです。

●会員特典●

東北地域の旬な情報をメールマガジンで配信

イベントの優先案内

グリーンふるさと物産センターで東北地域の特産品を1,000円以上お買い上げの場合に代金の5%を割引

抽選による東北地域の特産品や美術館・博物館などの招待券プレゼント

古民家を活用した 地産地消レストランがオープンします!

東北地域の豊かな自然が育む豊富な「食」の魅力のPRと、これらの食材を活かしてくれる料理人の方々の移住・出店を後押しするため試行的に行います。長年空き家となっていた古民家を再生した和食メインのレストランを期間限定で営業します。今年9月中旬のオープン予定です!!

《レストランの概要》

- 場 所:常陸太田市栗原町939-1
- 営業時間:昼 11時30分~14時 (予定) 夜 17時~21時
- 定 休 日:月曜日
- 営業期間:9月から2~4カ月程度
- メニュー:地元産野菜を中心とした和食御膳と鉄鍋ご飯、その他一品料理など

*営業時間は、変更になる場合があります。



古民家をレストランとして活用します

いばらき さとやま生活、地産地消レストラン についてのお問い合わせは

☎ 県地域計画課東北振興室 ☎029-301-2725 ㊟2739 ✉satoyama-life@pref.ibaraki.lg.jp

☎ 財団法人グリーンふるさと振興機構 ☎0294-72-2266 ㊟7366

グリーンふるさと

検索